

# かがやき

## 特別支援教育



2021・4・12

子どもは一人ひとり違った家庭環境で育ち、それぞれの個性や特性を持っています。成長の様子もみんな違います。「みんな同じ」でなく「一人ひとり違う」存在です。そんな子どもたち一人ひとりに合った学習の内容や方法をうまく組み合わせることによって、学習面や生活面での成長を支援していくこと、そして、子どもたちが学校でなかまとともに生き生きと楽しく過ごせるように支援していくことが、特別支援教育です。

私たち大人も、身体や能力にちがひ（個性）があります。たとえばパソコンを習うとき、集団で説明を聞いてもわからないことがあります。そんな時、自分のそばに来て個別に教えてほしいと思います。そうするとよくわかるし、できるようになったことで、また、やる気が出てきます。特別に支援してもらうことは、何ら変わったことをしているわけではないんです。その人が、だめな人間でないのは明らかです。

ということで、「特別支援教育」というのは、特別なことではなく、  
すべてのお子さんが対象になるのです。



## たんぽぽ・さくらんぼ学級



北井上小学校には、「たんぽぽ」・「さくらんぼ」という特別支援学級があります。少ない人数で個別に学習をした方が落ち着いて学習できるお子さんや、ゆっくりしたペースでじっくり取り組むことで、力が伸びると考えられるお子さんがいます。そのお子さんに合った環境の中で明るく元気に学習しています。でも、一日中たんぽぽやさくらんぼ学級でいることはなく、交流学級でいっしょに学習したり、給食を食べたりしています。また、休み時間には学年を超えていろいろな学年のお友達が、遊びに来ています。



## お子さんのことで、気になることはありませんか？

北井上小学校では、北井上小学校のすべての子どもたち、一人ひとりの状況に応じた支援を行い、個に応じた教育をすすめるために、その推進役として特別支援教育コーディネーターがいます。今年度は、野々瀬と中川2名の教諭と養護教諭の豊内が担当をします。お子さんの学習に対する悩みや、友だちとの関係作りなどについての相談の窓口をさせていただいています。その子に応じた支援の方法を共に考えたり、専門の機関を紹介したりします。ほんの少しのお子さんの変化や、心配事でも結構ですので、どんどん学校や担任までご相談ください。子どもたちが、より快適な学校生活を送ることができるように支援させていただきます。